

イタリア

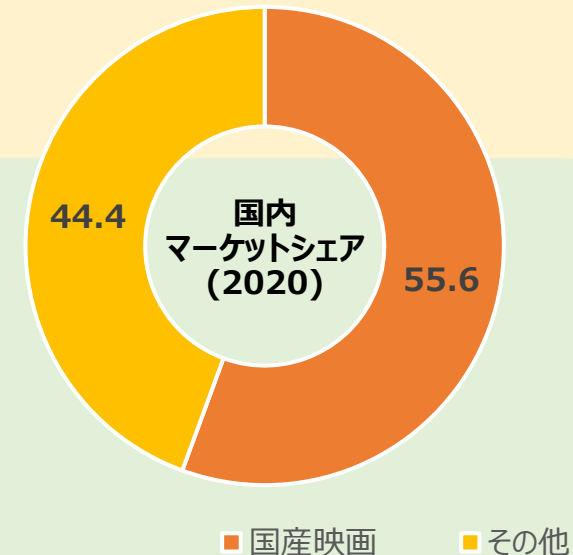


映画産業

- ・映画製作本数は020年減少に転じるも世界第6位(欧州1位) うち国際共同製作の割合は2割弱
- ・スクリーン数は欧州4位
- ・国際共同製作協定数は33カ国で世界第3位

国内市場

- ・国内映画の占める割合は2割強、2020年は5割以上に回復
- ・興行収入の上位はハリウッド映画が占める
- ・国内作品で上位にランキングするのは実写コメディ作品
- ・国産アニメの需要は低く、主にディズニーを中心としたハリウッド映画がメイン
- ・20~30年前の日本アニメブームで一定数のファンが存在



市場データ (2020年)

- | | |
|-----------------------|------------------------------|
| ・国内興行収入: | 1.895億ユーロ (2019年: 6.679億ユーロ) |
| ・国内の劇場動員数: | 0.303億人 (2019年: 1.044億人) |
| ・国内のスクリーン数: | 5325 (2019年: 5385) |
| ・平均チケット価格: | 6.3ユーロ (2019年: 6.4ユーロ) |
| ・一人あたりの年間平均入場回数: | 0.5回 (2019年: 1.7回) |
| ・マーケットシェアにおける国産映画の割合: | 55.6% (2019年: 21.6%) |
| ・映画製作本数: | 253本 (2019年: 325本) |

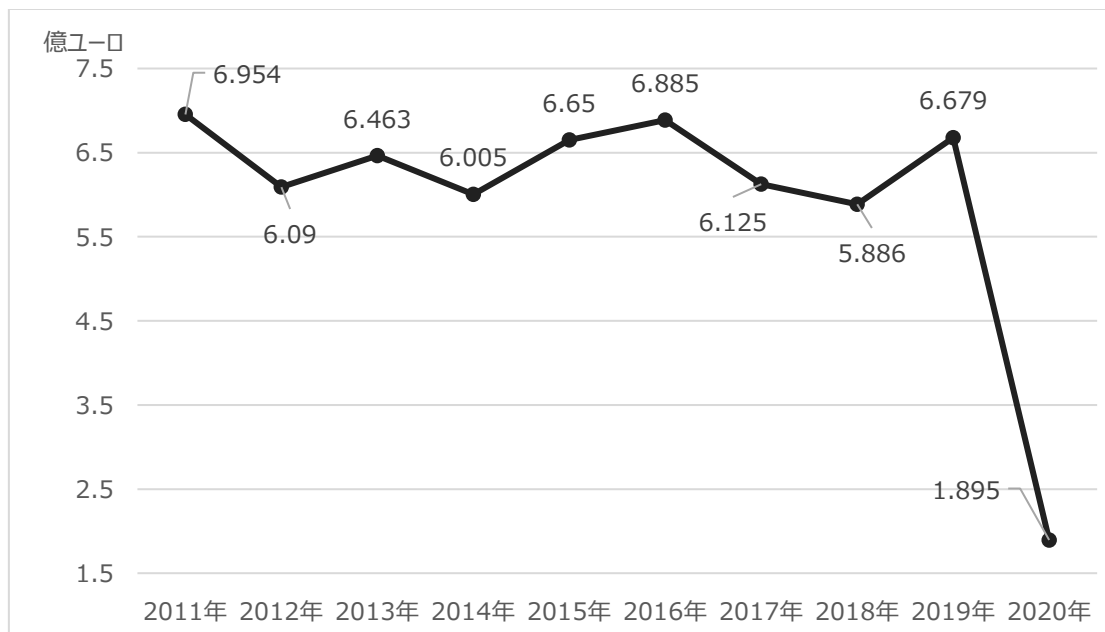
*100%国産 = 207本、国際共同製作 = 46本

イタリアの国内市場規模

1. 興行収入 (2011-2020) ¹

* コロナ感染拡大前は、概ね 6.5 億ユーロ前後を推移。2020 年は前年比 3 割程度に落ち込み。

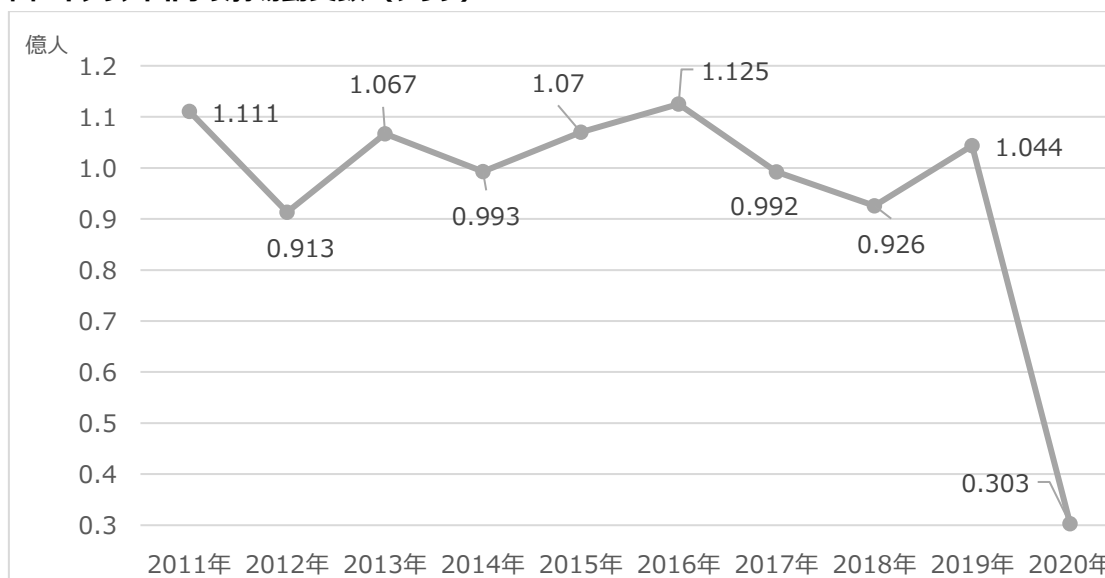
図 イタリア国内の劇場興行収入 (グラフ)



2. 動員数 (2011-2020) ²

* 動員数は 1 億人前後を推移していたが、2020 年は 3 割ほどに落ち込んだ。

図 イタリア国内の劇場動員数 (グラフ)



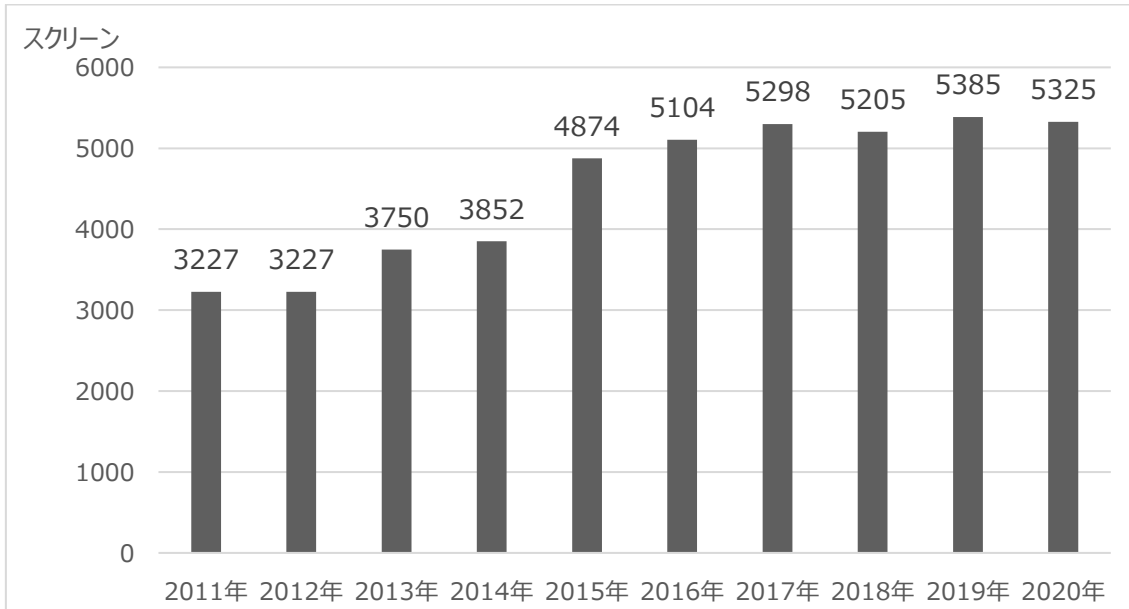
¹ European Audiovisual Observatory 発行 「FOCUS」2011 年版～2020 年版を元に作成

² 同上

3. スクリーン数 (2011-2020) ³

* イタリア国内のスクリーン数は堅調に伸び続け、コロナ感染拡大下でも微減に留まり欧州第2位。

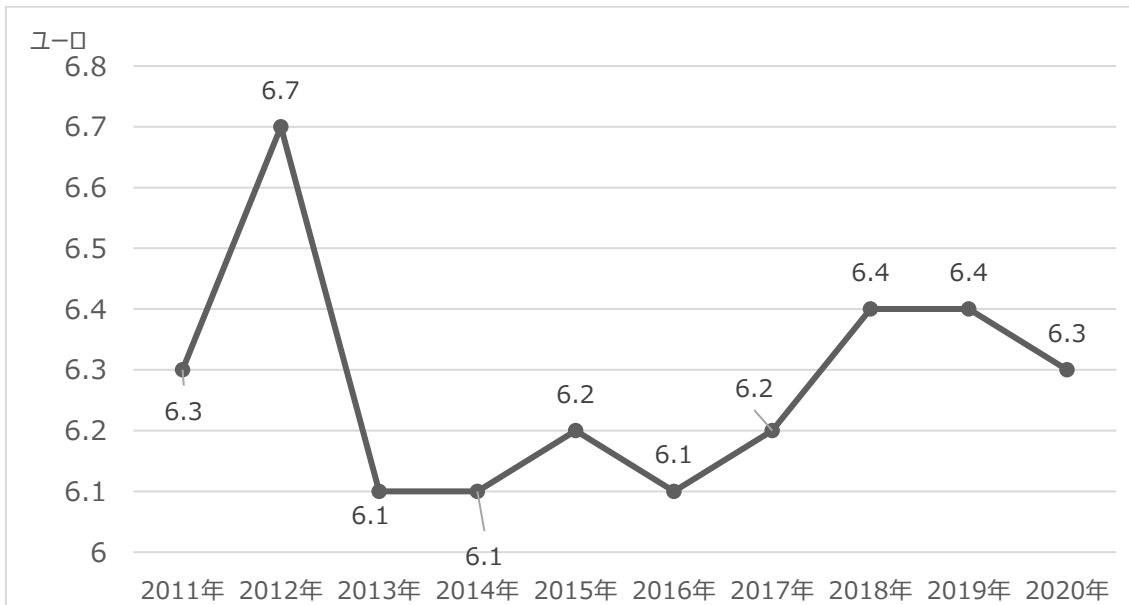
図 イタリア国内のスクリーン数 (グラフ)



4. 平均チケット価格 (ユーロ) (2011-2020) ⁴

* チケット価格は右肩上がりではなく年により変動。現在は 6.3 ユーロ程度である。

図 イタリア国内の平均チケット価格 (グラフ)



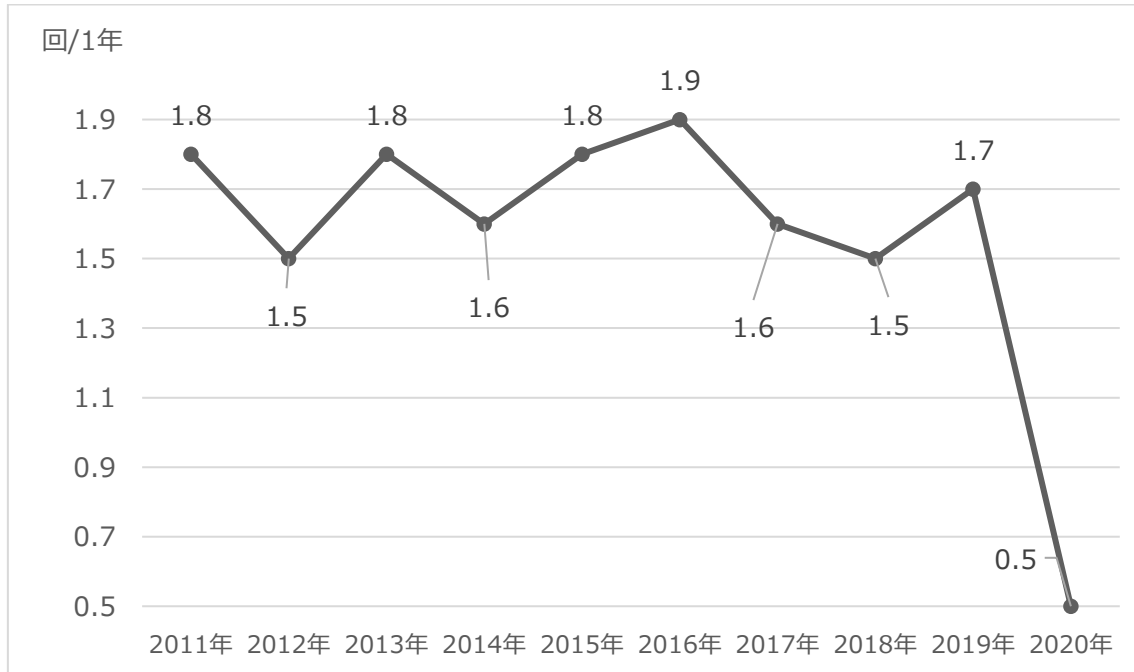
³ European Audiovisual Observatory 発行 「FOCUS」2011 年版～2020 年版を元に作成
数字に修正があったものは、最新に合わせて修正

⁴ 同上

5. 一人あたりの年間平均入場回数（2011-2020）⁵

*ヨーロッパ平均（2回）を下回っていたが、2020年は0.5回にまで落ち込んだ。

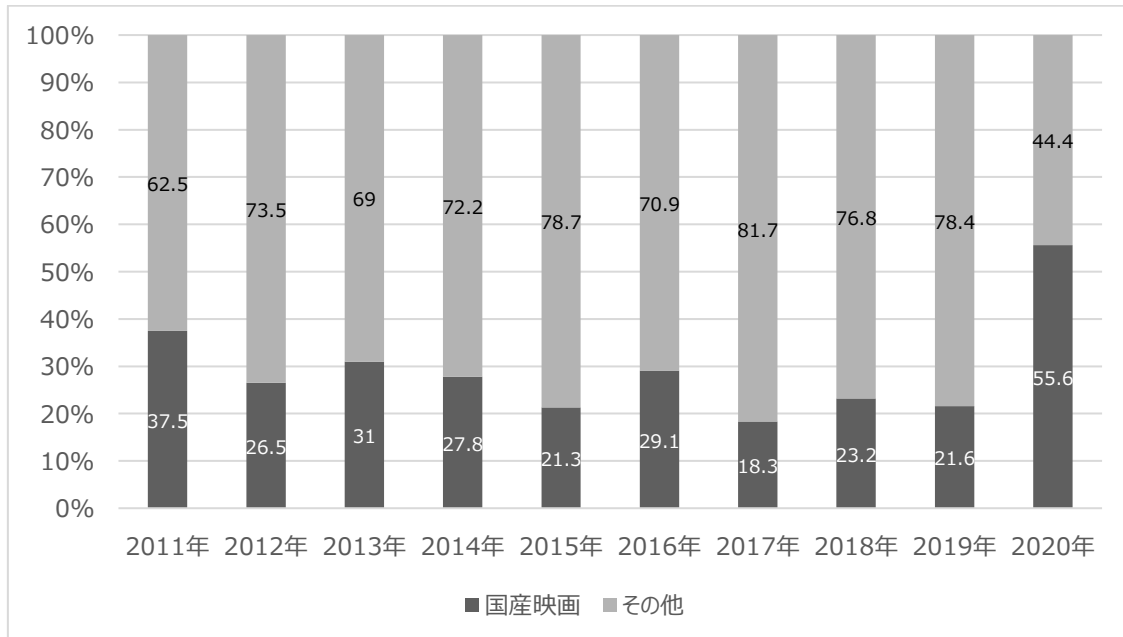
図 イタリアの一人あたりの年間平均入場回数（グラフ）



6. マーケットシェアにおける国産映画の割合（2011-2020）⁶

*国産映画の割合は2割程度だったが、2020年はコロナ感染拡大下で5割以上に回復した。

図 イタリアのマーケットシェアにおける国産映画の割合



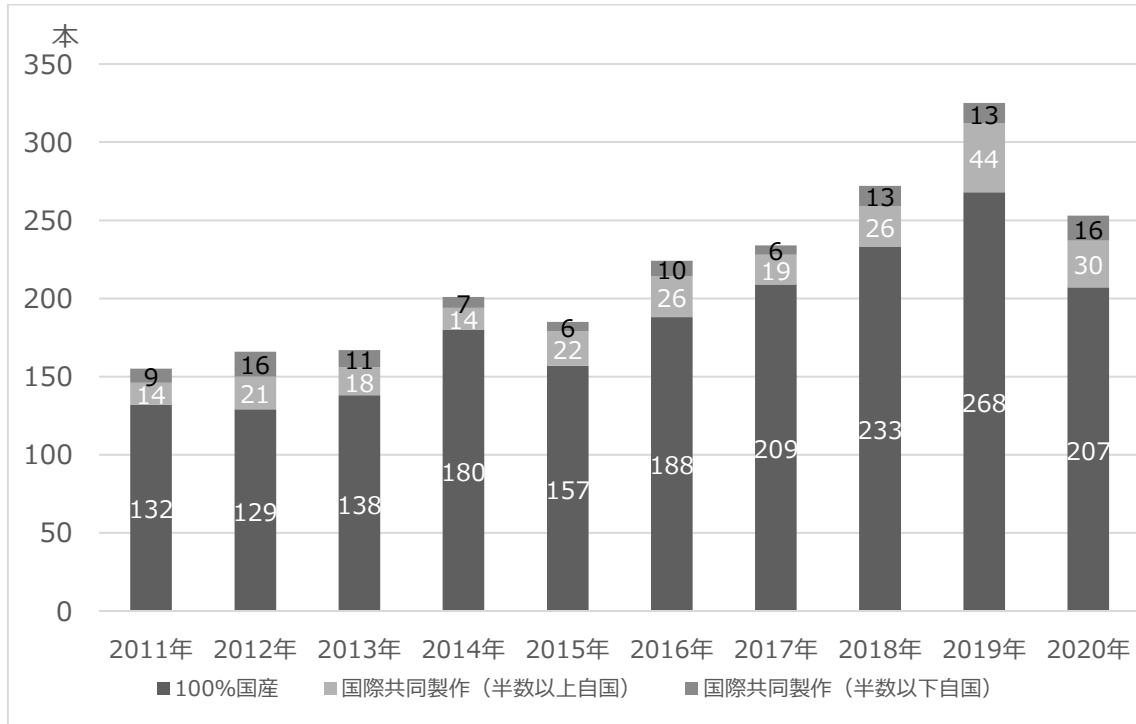
⁵ European Audiovisual Observatory 発行「FOCUS」2011年版～2020年版を元に作成

⁶ 同上

7. 映画製作本数（2011-2020）⁷

* 製作本数は 2020 年に減少したが、2019 年以前と変わらず欧州 1 位の本数は維持した。

図 イタリアの映画製作本数(グラフ)



⁷ European Audiovisual Observatory 発行「FOCUS」2011年版～2020年版を元に作成